

お取引先・投資家への取り組み

日本化薬グループでは、お客様に最良の製品を提供するために、製品やサービスの安全性・信頼性に配慮しています。

CSR 調達への取り組み

CSRに関する考え方は「[CSR調達ガイドブック](#)」に掲載されており、「購買理念」「購買基本方針」「日本化薬CSR調達ガイドライン」から構成されます。

購買理念では、購買活動を社会に有用な製品・サービスの提供によるKAYAKU spirit 実現の一環であり、サプライヤーの皆さまと相互に持続的な発展を追求することにより可能であることを明確にしています。

購買基本方針では、広く門戸を開き、私たち調達部門が諸法令はもとより社会が期待する規範を遵守し、透明性を確保しながら業務を遂行することを規定しています。環境への配慮に留意しなければならないことはいうまでもありません。購買基本方針は私たち調達部門にとっての業務遂行上の規準になります。

また、日本化薬CSR調達ガイドラインでは、「コンプライアンス」「人権と労働」「安全衛生」「環境」「品質・製品の安全性」「情報セキュリティ」「BCP」「情報開示」「社会貢献」の各テーマに沿って具体的内容を説明しています。サプライヤーの皆さまの取り組みがさまざまであることは承知しており、それぞれの考えや取り組みを尊重しながら、ともにCSR調達を遂行したいと考えます。詳細は当社ウェブサイトに掲載されておりますのでご確認ください。



日本化薬と医療機関等との関係における透明性に関する指針 日本化薬と患者団体との関係の透明性に関する指針

日本化薬は、医薬品等の提供を通じて皆様の健康向上に貢献するため、研究者、医療関係者、患者団体等と相互の信頼関係を構築し、医学・薬学の基礎研究、臨床開発、製造販売後の情報提供・収集活動、安全対策の実施などの多様な活動を展開しています。創薬や医薬品の適正使用を推進するために発生する費用については医療機関等と適切に契約を締結し、適正な対価を支払っています。また、薬事法をはじめとする法規制は製薬協企業行動憲章、製薬協コード・オブ・プラクティス、医療用医薬品プロモーションコード、医療医薬品製造販売業公正競争規約などの業界自主規範を遵守しています。しかし、このような法令遵守体制に基づく企業活動を推進しても、当社からの寄附金や対価の支払いが存在するため、それらが医療機関等の判断に何らかの影響を及ぼしているのではないかと、との懸念を抱かれている可能性は否定できません。

製薬産業をはじめとする生命関連産業は、他の産業以上に、高い倫理性とその活動の透明性が求められることを踏まえ、日本化薬は医療機関、患者団体等に対する資金提供の情報をウェブサイト上で公開するための指針を作成し、支払い情報等の集計・公開のためのシステムを構築しました。

- ▶ [日本化薬と医療機関等との関係の透明性に関する指針](#) PDF
- ▶ [日本化薬と患者団体との関係の透明性に関する指針](#)

購買説明会の開催

セイフティシステムズ事業本部では、日頃お世話になっている原材料供給協力会社の皆さまを対象に、年1回、購買説明会を実施しています。これは、当事業本部の当年度業績見込みの説明、次年度以降の事業計画、生産体制の現況、開発計画、今後数年間の事業ビジョンを説明させていただき、協力会社の皆さまの事業計画に資する情報の一つとしていただくことを目的としています。

めまぐるしく変化する国内・国際情勢、原料相場、為替変動に即応しながら、顧客に遅滞なく高品質・低コストの製品を供給し続けなければならない自動車産業のサプライチェーンを担う協力会社の皆さま、および当社にとって貴重な情報交換の場とすべく、可能な限り協力会社の皆さまにとって有益な情報を提供させていただくことを心掛けています。

毎年、約80社・100名を超える皆さまにご参加をいただき、当社の各部門と情報交換を行っていただいておりますが、当事業のグローバル化の進展に伴い、年々海外の協力会社の皆さまのご参加が増加している状況です。



購買説明会

■ 決算説明会の実施

機関投資家や証券アナリストを対象とした決算説明会を、第2四半期決算および年度決算後に開催しています。日本化薬からは社長をはじめ全役員が出席し、決算や業績見通し、今後の取り組み方針を説明しています。また、第1四半期および第3四半期にはテレフォンカンファレンスを実施しています。



決算説明会

■ 個別ミーティングの実施

機関投資家や証券アナリストと直接コミュニケーションを取る個別ミーティングを実施しています。

■ 工場見学会の実施

日本化薬の事業活動に対する理解を深めていただくため、機関投資家や証券アナリストを対象とした工場見学会や研究開発説明会を毎年実施しています。